

## 平成30年度 入退院調整マニュアル運用ワーキンググループの活動報告

## 【目的】

病院から在宅へシームレスな支援をより具体化するため病院担当者、地域包括支援センター職員、ケアマネジャーを中心に策定した生駒市入退院調整マニュアルの運用後において、入退院調整における現状や、医療と介護の連携による効果と課題を把握し、必要に応じて見直しを行うために入退院調整マニュアル運用ワーキンググループを開催した。

## 【取組の経過】

日 程	会 議 等
平成30年4月	入退院調整マニュアル運用開始
平成30年6月16日(土)	入退院調整マニュアル運用ワーキンググループ開始
平成30年10月	入退院調整マニュアル運用半年後 入退院調整状況調査(①)
平成30年12月3日(月)	入退院調整マニュアル運用ワーキンググループ
平成30年12月17日(月)	第1回 入退院調整マニュアル合同会議(②)
平成31年2月6日(水)	第2回 入退院調整マニュアル合同会議(③)
平成31年3月	入退院調整マニュアル運用1年後 入退院調整状況調査(④)

## ①入退院調整マニュアル運用開始半年後 入退院調整状況調査

目的：入退院調整マニュアルの運用を開始して半年が経過したため、退院支援・退院調整の状況を把握し、マニュアル見直しのための基礎資料として活用するために実施。

調査対象：・市内病院 6ヶ所  
・市内介護事業所 41ヶ所

居宅介護支援事業所 30ヶ所  
小規模多機能居宅介護事業所 4ヶ所  
地域包括支援センター 7ヶ所

回答数：市内病院 6ヶ所(100%) 市内介護事業所 41ヶ所(100%)

## ②第1回入退院調整マニュアル合同会議

参加者：69名

(介護関係者：43名、病院関係者7名、ワーキンググループ8名、傍聴3名、事務局8名)

内容：【報告】①生駒市入退院調整マニュアルづくり事業の取組経過

②入退院調整ルール広域会議について

③入退院調整状況調査の結果

【グループワーク】入退院調整マニュアル運用上の課題

## ③第2回入退院調整マニュアル合同会議

参加者：73名

(介護関係者：43名、病院関係者10名、ワーキンググループ9名、傍聴3名、事務局8名)

内容：【報告】第1回入退院調整マニュアル合同会議のまとめ

【グループワーク】入退院調整マニュアルの改善すべき項目について

④入退院調整マニュアル運用開始1年後 入退院調整状況調査

目的：入退院調整マニュアルの運用を開始して1年が経過したため、退院支援・退院調整の状況を把握し、マニュアル見直しのための基礎資料として活用するために実施。

調査対象：・市内病院 6ヶ所  
・市内介護事業所 41ヶ所  
┌ 居宅介護支援事業所 30ヶ所  
├ 小規模多機能居宅介護事業所 4ヶ所  
└ 地域包括支援センター 7ヶ所

回答数：市内病院 40ヶ所（98%） 市内介護事業所 6ヶ所（100%）